

平成 19 年 10 月 23 日

白馬村新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田 温巳 殿

白馬村長 太田 紘熙 印

「地区懇談会」はごみ問題の説明会だったのか
—公開質問に対する答え—

1. 地区懇談会が、「ゴミ問題の説明会ではなかった」との認識は今も変わりませんか？
A 特別にゴミ問題だけを取り上げたものではなく、その地区の抱える課題など広い範囲の話題で懇談したものである。従ってゴミ問題の説明会という認識はありません。
2. もし変わらないなら、ゴミ問題を論じた議会という公の場その内容や多寡に触れる発言は控えるべきだったと思いますが、いかがか？
A ゴミ問題に関しての一般質問等で、懇談会を通じての感想を求められたので、その範囲でお答えした。
3. 議会の場で、地区懇談会についてあそこまで触れたからには、各地区の会議録すべてを公開し、その全貌を明らかにする責任があると思いますがいかがですか。
A 住民個々の発言まで公開対象とは考えませんが、出された要望等取りまとめたものは広報等で明らかにします。
4. 某新聞社の記者の話に拠れば、村長に「賛成の住民に取材したいので、そうした団体か個人を教えて欲しい」とお願いしたら、村長は「知らない」と答えたそうですが、議会発言であげている賛成意見のニュースソースは地区住民懇談会で得たものですか。
A 某新聞社の取材とのことで思い当たるものが見当たらないのですが、もっと具体性のある問い合わせでしたらお答えできるかも知れません。
ニュースソースについては、いろいろな場面での会話や、通信機器での情報提供から得ています。
5. 私どもは公開シンポジウムや討論会を検討中ですが、貴殿に要望したら、誤解していたという住民や、賛成の団体や個人をご紹介いただけますか。
A 対象者の了解が得られない限り紹介はできません。